

施策番号	2406		
施策名	中・大規模の市営住宅団地のマネジメント		
概要	市営住宅において、多様な世代が居住する団地づくりを進めるとともに、子育て施設や高齢者施設等の導入により団地内外の交流やコミュニティの活性化に資する機能の充実を図る。		
担当局・部室	都市計画局・住宅室	共管局・部室	
上位政策	24 住宅		
施策に関する主な分野別計画等	京都市住宅マスタープラン		

施策の評価

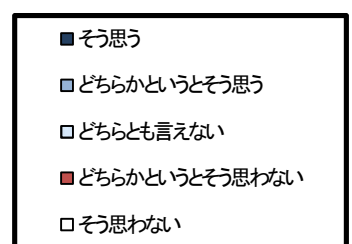
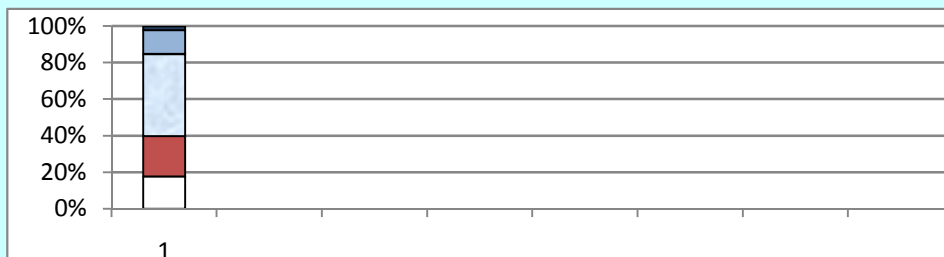
1 客観指標評価

指標名	年度	年度	23年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1 中・大規模の市営住宅のうち地域コミュニティに資する活動の場を有する団地数(団地)	-	-	-	1	4	25.0%	d	1.00
2 -	-	-	-	-	-	-	-	-
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
客観指標総合評価							d	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	23年度回答					有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1 低所得者や高齢者などがくらしやすい市営住宅や民間賃貸住宅が十分に確保されている。	11 2.2%	66 13.0%	228 45.0%	112 22.1%	90 17.8%	507	d
2 -							-
3 -							-
4 -							-
5 -							-
市民生活実感調査総合評価							d



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

D	施策の目的があまり達成されていない					年度	-
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	d	<input type="checkbox"/> 市民の実感	d		
(重み付けの理由) 施策の目的は、中・大規模の市営住宅団地での周辺地域とのコミュニティ形成であり、全市民が実感することは困難なことから、客観指標が重視されるべきと考えるため。						年度	-
(原因分析) ・客観指標の達成度は25%(目標値4団地のうち、1団地に導入)にとどまった。 ・これは、対象となる中・大規模の市営住宅の活用方針(継続活用、建て替え等)が定まっていなかったため、具体的な検討が進められなかったことによる。						年度	-

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1	市営住宅	4,344,941	5,146,110	良い	都市計画局
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・平成23年2月に京都市市営住宅ストック総合活用計画を策定し、各団地の活用方針を定めたことから、今後は各局区の施策の取組状況について協議を重ね、周辺地域とのコミュニティ形成に向けて、事業の推進を図る。

施策名	2406	中・大規模の市営住宅団地のマネジメント				
指標名	中・大規模の市営住宅のうち地域コミュニティに資する活動の場を有する団地数（団地）					
担当課	住宅管理課, すまいまちづくり課		連絡先	222-3631, 3635		
1 指標の説明						
中・大規模の市営住宅のうち地域コミュニティに資する活動の場を新たに導入した団地数						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
市営住宅団地のコミュニティの形成及び活性化の状況を示す指標			出典等：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	-	1		4	マスタープランの目標値52（中・大規模団地数）-16（既導入団地数）=36（新規導入対象団地数）を各年度で等分して年度計画とする。	25.0%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		根拠
数値		36団地（新規導入）	31年度		京都市住宅マスタープラン	
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
達成度(最新数値/目標値)が a：80%以上 b：60%以上80%未満 c：40%以上60%未満 d：20%以上40%未満 e：20%未満		達成度が80%以上の場合を最高のaとし、以下20%刻みで設定した。				23
				-	-	d